

## 「高齢者虐待防止ネットワーク」の構築

平成17年度予算額（案）

326百万円

※在宅介護支援センター運営事業費に計上

### 【目的】

高齢者虐待問題への対応は、高齢者の「尊厳の保持」という観点から極めて重要な課題であり、今後、このような高齢者虐待問題に着眼した情報把握の仕組み、把握された情報の一元化、家族支援を含めた地域における総合的なマネジメント体制、関係機関のネットワーク化等が求められている。

このため、地域の総合的な相談窓口や介護予防・生活支援サービスの利用調整等の役割・機能を担っている在宅介護支援センターにおいて、市町村及び地域関係機関等との連携の強化を図り、地域における高齢者虐待防止のためのネットワークの形成・運用を行う『高齢者虐待防止ネットワーク運営事業』をモデル実施する。

### 【事業内容】

基幹型在宅介護支援センターを中軸とし、以下の事業を総合的に実施。

- (1) 「市町村高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会」の設置
  - ・全体の運営状況の管理
  - ・更なる虐待防止策の検討など、事業全体の評価・見直し
- (2) 3層構造のネットワーク形成及びネットワーク間のコーディネート
  - 早期発見・見守りネットワーク
  - 保健医療福祉サービス介入ネットワーク
  - 関係専門機関介入支援ネットワーク
- (3) 虐待ケースマネジメントの実施
  - ・総合相談窓口体制の整備
  - ・ネットワークを活用した虐待ケースへのマネジメントの実施

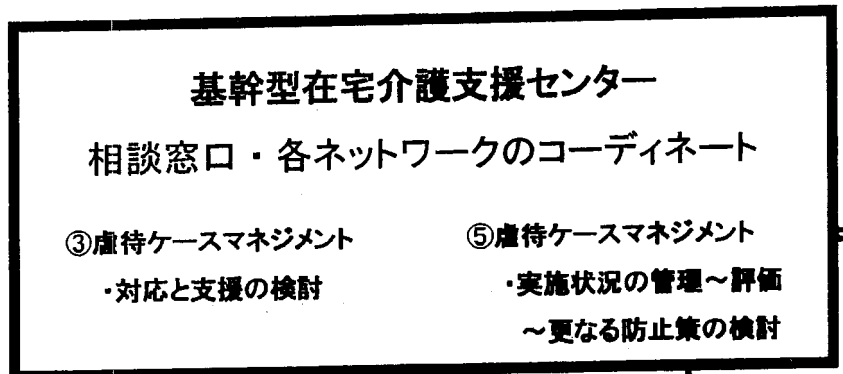
(具体的な業務の流れ(例))

- 1) 虐待の疑い→早期発見
- 2) 相談・通報
- 3) 虐待ケースマネジメント(実態調査～実態把握)
- 4) 虐待ケースマネジメント(対応と支援の検討)
- 5) サービス介入 又は他制度へリンク
- 6) アフターケア(実施状況の管理～評価～更なる防止策の検討)

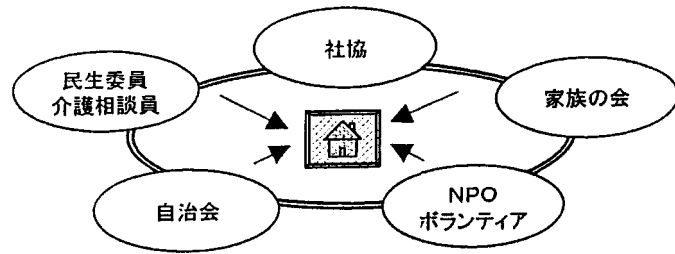
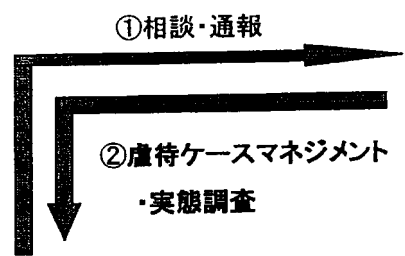
【実施か所数】 300か所

【負担割合】 国1/2、都道府県1/4、市町村1/4

# 高齢者虐待防止ネットワーク運営事業イメージ



市町村高齢者虐待防止  
ネットワーク運営委員会



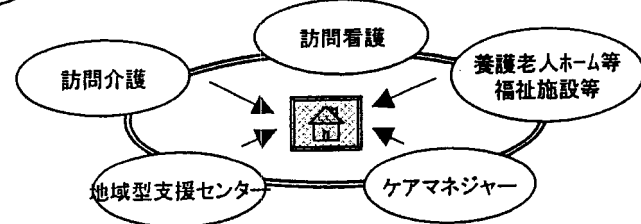
**早期発見・見守り  
ネットワーク**

①相談・通報

④サービス介入

④サービス介入  
他制度へのリンク

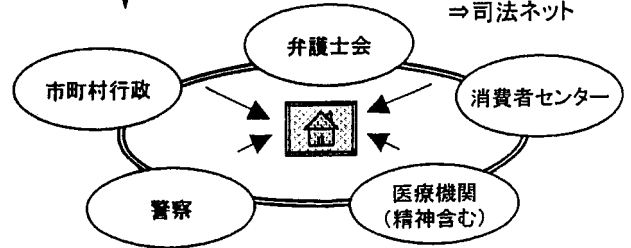
①相談・通報



**保健医療福祉サービス  
介入ネットワーク**

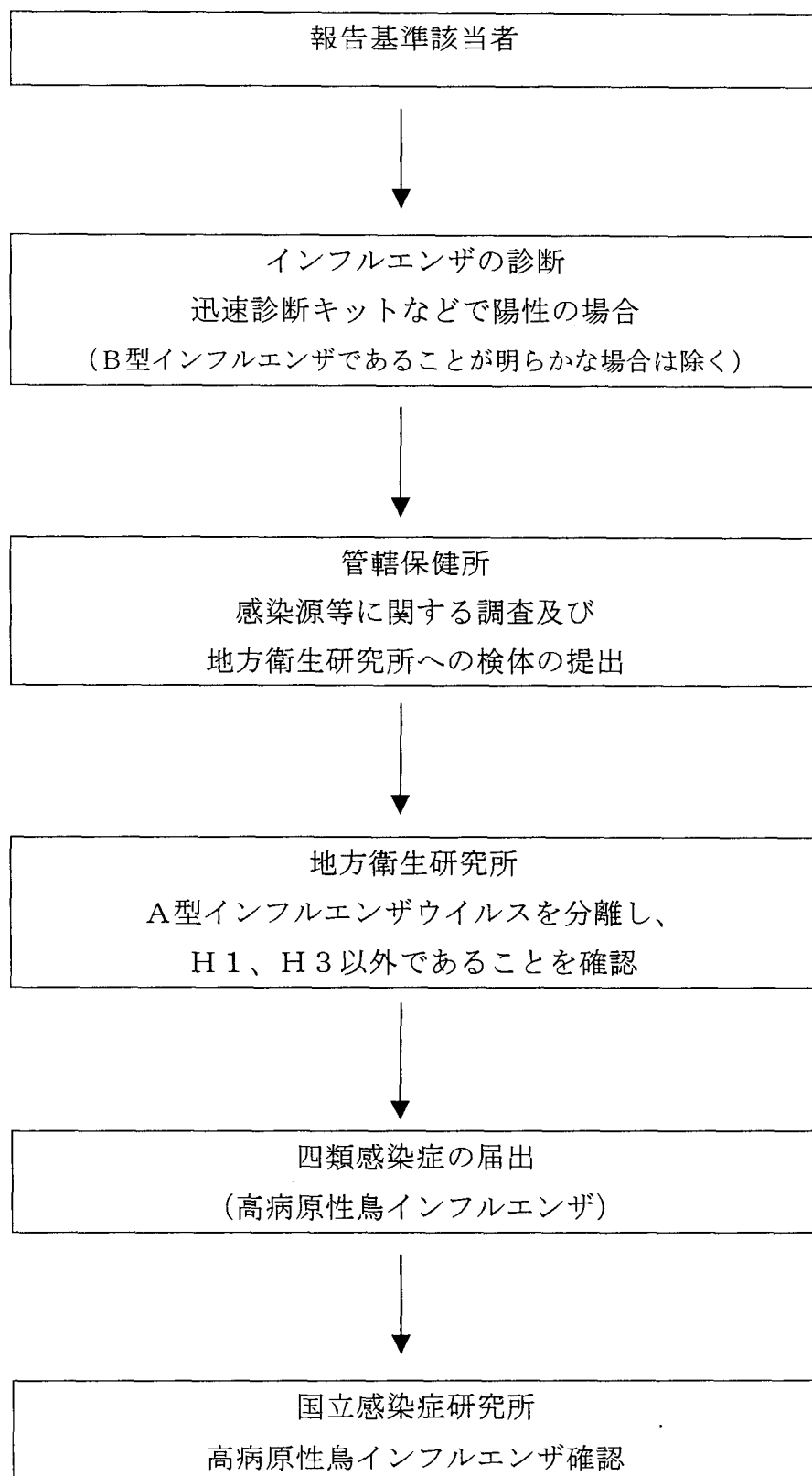
⇒ 学校関係  
金融関係  
不動産関係 等

⇒司法ネット



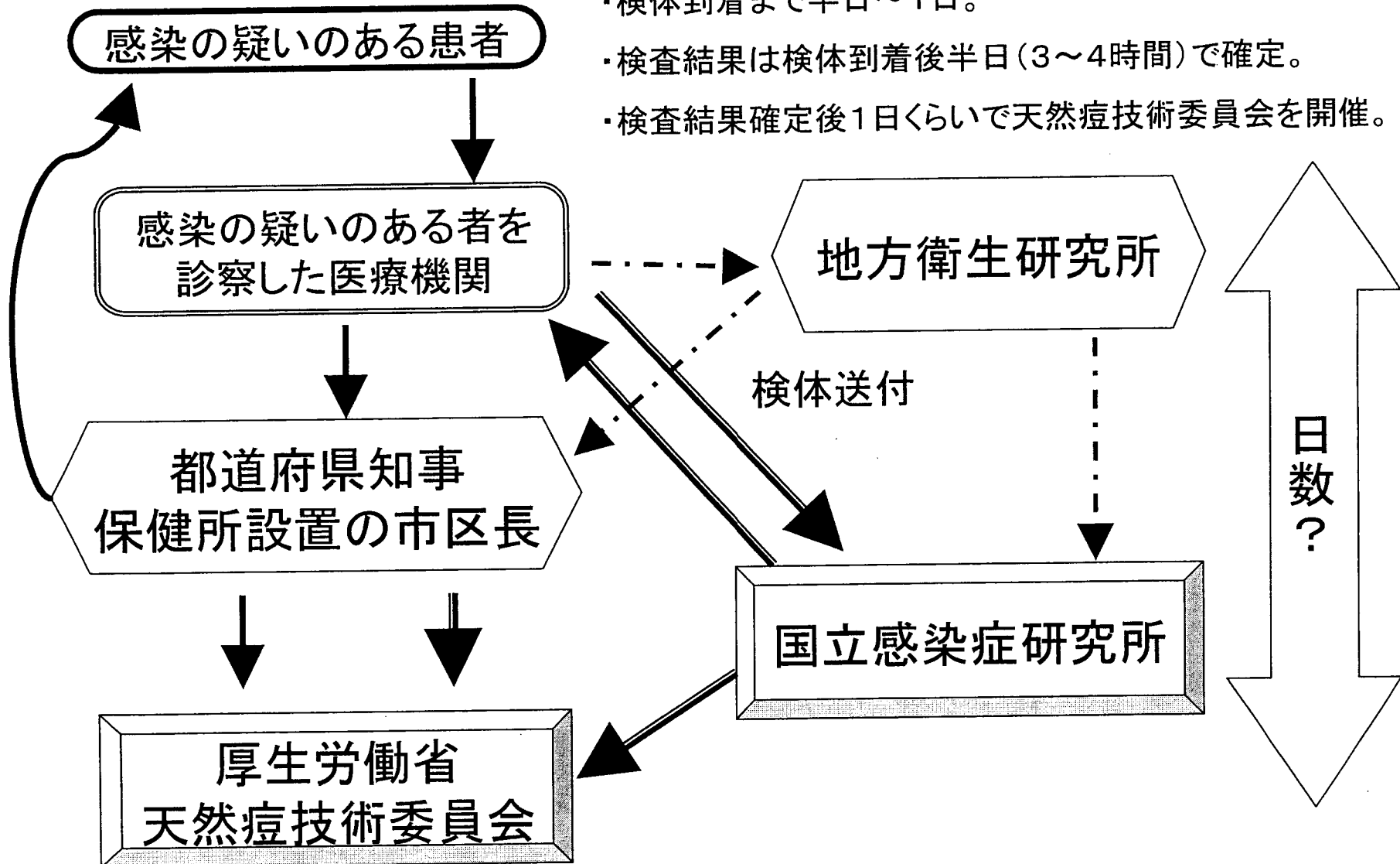
**関係専門機関介入  
支援ネットワーク**

## 高病原性鳥インフルエンザのサーベイランスの流れ

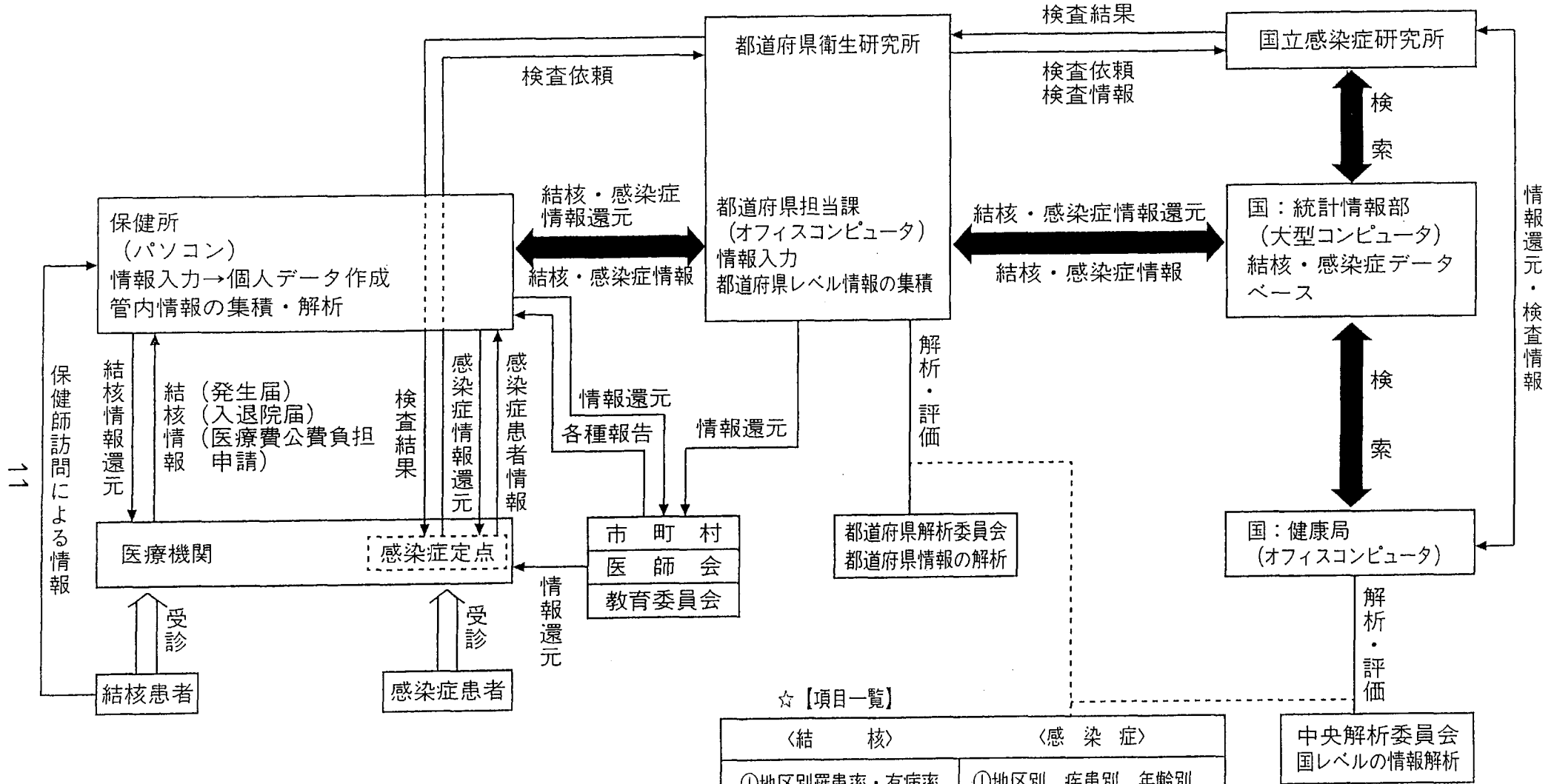


# 第1号天然痘患者の診断の確定まで流れ

- ・検体到着まで半日～1日。
- ・検査結果は検体到着後半日(3～4時間)で確定。
- ・検査結果確定後1日くらいで天然痘技術委員会を開催。



# 結核・感染症発生動向調査事業のフローチャート



## ☆【項目一覧】

〈結 核〉	〈感 染 症〉
①地区別罹患率・有病率	①地区別, 疾患別, 年齢別 罹患数・率
②学校別 // //	②地区別, 疾患別, 年齢別 発生状況図表
③治療内容別治療期間	③罹患数・率, 経時的変化等 流行の分析に必要な図表
④ツ反・BCG接種効果	
⑤その他必要に応じた各 クロス集計	

注 1) 都道府県には指定都市を含む。  
2) ↔は、オンラインシステムによる情報のやりとり

# 結核予防法の体系図

